

市民の皆さま、豊岡市長の中貝宗治です。

新型インフルエンザについて、お知らせとお願いをいたします。

新型インフルエンザは、国民を大きな不安に陥れましたが、その後、多くの場合、軽症のまま回復しており、かつタミフルなど既存の薬が有効であることから、国は「季節性インフルエンザと類似している」との見解を示しています。今回の新型インフルエンザの症状自体は、季節性インフルエンザと比べて、ことさらに恐ろしいものではないとの見解が示されたものと言えます。

国や県においては、今なお遺伝子検査が行われ、感染ルートの追跡が行われていますが、それは、第二波すなわち、将来ウィルスが強い毒性を持って再びやって来る場合に備えることを主な目的とするものです。

以上のことから、豊岡市では、今月23日から、学校、保育園、公民館などの公共施設を平常どおり再開しています。修学旅行や自然学校も実施しています。

市内では、当初2名の方の感染が確認されましたが、既に2人とも元気に回復され、通常の社会生活に戻っておられます。治癒した人から他の人に感染することはありません。

また、26日(火)に新たに市内で1人の感染者が確認されましたが、健康状態は良好で、回復に向かっておられます。数日のうちに治癒されるものと思います。

今回の新型インフルエンザについては、残念ながら、無理解や誤解に基づく偏見が社会の中にあることも事実です。

市民の皆さまにおかれましては、今回の新型インフルエンザは、季節性インフルエンザに比べて感染力が強いということがありますが、ことさらに不安視する必要はないということ、ぜひ、ご理解ください。

ただし、糖尿病、ぜんそくなどの基礎疾患を有しておられる方や妊娠しておられる方については、重症化する危険がありますので、特に注意が必要です。

なお、うがい、手洗い、咳エチケット、こまめな換気などの感染防止対策については、市民の皆さまにも引き続き徹底していただくようお願いいたします。